

第4回南区自治協議会 会議概要

日 時 平成30年7月25日(水) 午後3時～午後4時55分

会 場 新潟市南区役所4階 講堂

- 次 第
- 1 開会
 - 2 議事
 - (1) 平成31年度特色ある区づくり予算について
 - 3 報告・連絡事項
 - (1) 部会報告
 - (2) 信濃川・中ノロ川・鷲ノ木大通川クリーン作戦実施報告について(建設課)
 - (3) 第2回みなみマルシェ～シロネラコッテ～の開催について(地域総務課)
 - (4) 味方地区ふるさと納涼まつりの開催について(味方出張所)
 - (5) その他
 - 4 次回全体会の日程について
8月29日(水) 南区役所 午後2時45分から
 - 5 閉会

事前配布資料

資料1 平成31年度特色ある区づくり予算について

当日配布資料

資料2 部会報告

資料2関連 夏休み期間限定!「マリンピア号」に乗って水族館気分を満喫!!のチラシ

資料3 信濃川・中ノロ川・鷲ノ木大通川クリーン作戦実施報告

その他資料 第2回みなみマルシェ～シロネラコッテ～ チラシ

〃 味方地区ふるさと納涼まつりチラシ

出席委員 齋藤栄樹委員, 山際和美委員, 田村義三郎委員, 青木智子委員,
小林 誠委員, 小柳雅弘委員, 有田正己委員, 小林公子委員,
鞠子幸一委員, 富井 敦委員, 笹川和代委員, 内城大三郎委員,
寺澤和江委員, 渡邊喜夫委員, 小嶋ノリ委員, 豊岡博子委員,
原 正行委員, 渋川博子委員, 町屋参吉委員, 山宮勇雄委員,
鈴木照子委員, 児玉一幸委員, 田中容子委員, 本間智美委員,
和泉美春委員, 早見真由美委員, 小田信雄委員

以上27名

欠席委員 関根功雄委員, 梅津繁明委員, 大那 孝委員

事務局 渡辺区長, 高野副区長, 佐藤地域総務課長補佐, 藤村地域総務課長補佐,
岡村地域総務課主幹, 宮本同係長, 笠原同主査, 野田同主事

関係課 内藤区民生活課長, 田中健康福祉課長, 靄巻産業振興課長補佐,
吉田建設課長, 島倉味方出張所長, 登石月潟出張所長,
川崎南区農業委員会事務局長, 長谷部南区教育支援センター所長,
牛腸白根地区公民館長

報 道 1名(新潟日報事業社)

傍聴者 1名

(午後3時00分)

1 開会

○事務局（佐藤地域総務課長補佐）（配付資料の確認）

○議長（小田会長） 大変な暑さが続いているので、ご家族の中あるいは委員の皆様方で、少しは体調を崩されている方もいらっしゃるのではないかと心配している。まだしばらくの間続きそうである。ご自愛いただきたい。

先ほど、教育ミーティングの中で個の重要性、ローカリティーの重要性を少しまとめさせていただきました。この3月の白根第一中学校の卒業式で、生徒の中にイスラムの男の子が二人いた。もちろん、中東バン格拉デシュの子どもであるから、15歳といえども日本の中学生よりもひげが大変りっぱになっている。担任が、ついっっかり、君、そのひげを剃ったらどうだとおっしゃったそうである。そうしたらその子どもは顔色を変えて、そんなことをしたら僕のお父さんに大変しかられると抗議したそうである。もちろん、皆さん方もご存じのように、イスラムの国にとっては、男性はその象徴として最もひげを重んじる。そして、アフガニスタン・イスラム共和国のカルザイ大統領が日本においてになったときに、紫のシャツを召されて、白いひげを蓄えて来日された。そのときに、周りのイスラムの方々が、白いひげは知恵の象徴だと。人間、長い間勉強し、苦勞し、ひげが白くなるころには、知識ではなく知恵の固まりになる。聖者の印が白いひげだとおっしゃっていた。

最初にアフガニスタン・イスラム共和国はじめイスラムの人たちという話があったが、今回は、動乱が終わった東ティモールとタンザニアの先生方をホームステイさせることにした。何を言いたいかという、先ほどの教育と同じように、各々の違いをきちんと認識して、その中から未来を作り出す。子ども自治協議会に与えられた任務と同じようなところである。各々の部署で十分な活動、活躍をされている委員の皆さん方が、一つの課題について、南区の将来についてさまざまな観点から意見を出し合う。それが自由に意見を出し合える、デモクラシー、ディスカッション。これこそが真の民主主義であり、自治である。先ほど、言葉を途中で少し濁したが、私どもが信頼している新潟市教育委員会が真にデモクラシーとディスカッションの場であるかどうか、危惧しているところである。ぜひとも、よりローカリティーと個の充実を求めて、私たち自治協議会はそのことを頭に置きながら、各々の立場を尊重し、豊かな南区、豊かな人生のために奮闘していこう。

暑い中ではあるが、7月の定例会をただいまから開始する。

本日は、少し時間がおしているの、日程の調整にご協力いただきたい。

欠席者の報告

傍聴者の報告（所定の手続きを経て、傍聴していることを報告）

2 議事

（1）平成31年度特色ある区づくり予算について

○議長（小田会長） 次第2、（1）平成31年度特色ある区づくり予算について、地域総務課から説明をいただく。

○高野副区長 特色ある区づくり予算についてご説明する。お配りした資料1をご覧ください。基本的な枠組みとして①区役所企画事業、②区自治協議会提案事業がある。①区役所企画事業とは、資料に記載がある、区独自の改題解決に向けた取組など、区役所が事業を企画・立案するものであり、地域の意見を反映させるため、区自治協議会の皆様のご意見、アイデアをいただくものである。次に、②区自治協議会提案事業については、地域課題の解決に必要な新たな事業や既存の取組みとの連携を図る事業で、企画・実施・評価・改善の各過程において自治協議会が主体的に関与して取組んでいただくものである。

続いて、平成31年度の特色ある区づくり事業の配分方法についてご説明する。こちらは資料なしである。配分方法の考え方だが、区づくり予算を均等割部分と人口面積割部分に分け、均等

割部分については一律1区2,500万円。ここには従来、自治協議会提案事業分として配分されていた1区500万円が含まれている。また、人口面積割分については8区全体で4,000万円として、地方交付税の費用算定を参考に、各区に傾斜配分する。それによると、南区の人口面積割分は300万円となり、南区の予算額は均等割1区一律2,500万円に加えて、今年度と同額の2,800万円となる予定である。平成30年度の予算までは区役所企画事業が2,300万円、自治協議会提案事業分が500万円と決められていたが、平成31年度からはその制限がなくなるため、より柔軟な対応、執行が可能となる。ただ、南区としては、自治協議会提案事業分については従来どおり500万円は確保したいと考えている。

なお、ただいま説明した予算額については、財政状況に応じて変更の可能性もあるので、ご承知置きいただきたい。

次に、2ページ目をご覧いただきたい。南区での特色ある区づくり予算のスケジュールをお示ししたものである。まず、本日7月25日、自治協議会説明後、8月31日金曜日までに、3ページの「特色ある区づくり予算」ご意見・アイデアについての様式を用いて、それぞれに対する意見を皆様から頂戴したいと考えている。2ページに戻っていただいて、8月31日までに提出いただいた区役所企画事業、自治協議会提案事業の両事業について、9月の第2週から各部会にて提案者からの説明、所管課との意見交換、委員相互の協議を始めていただく。その後、9月26日の自治協議会において、お寄せいただいたご意見、アイデアの一覧を改めてご確認いただくとともに、各部会での協議について、部会長より報告いただきたいと考えている。そして、10月第2週からの各部会で2回目の意見交換、協議をお願いする。区役所企画事業については、各部会での2回の意見交換等を経て10月31日の自治協議会において、平成31年度特色ある区づくり事業案としてお示ししたいと考えている。自治協議会提案事業については、11月28日の自治協議会までに各部会内で来年度の実施内容について決定していただく必要がある。

4ページ、5ページについては、参考資料として南区自治協議会提案事業一覧をお付けしている。平成23年度から南区自治協議会で取組んでいた事業の一覧となっている。6ページ以降のA3判4枚も参考資料で、6ページから8ページまでが現在実施している平成30年度区づくり予算一覧である。9ページが平成19年度から平成30年度までの区づくり予算の一覧となっている。後ほど参考にご覧いただきたい。

○議長（小田会長） 少し難しい活字が並ぶ資料である。事前に配付されたので、少しはお目通りされてきたかと思うが、このことについて、皆さん方のご意見をいただく。この全体的な姿についてはご理解いただいていると思うが、まず、そのことについて質問を頂戴する。説明の中に重要な字句があった。垣根が取り払われて自由な、柔軟な運用ができるという意味の表現が1と2の間にあった。このことについて、委員の皆様方に不明な点があったら、まず、ご意見を伺いたい。

副区長、自由な行き来ができる、柔軟な構え方ができることをもう少し説明いただけるとありがたい。

○高野副区長 今までは、自治協議会提案事業分として500万円が確保されていたということで、区役所企画事業とはあまり流動性がない執行をやっていた。しかしながら、平成31年度については、各区においてそれが自由な裁量で任されたということであり、区によっては500万円というお金がなかなか使えないということで減額する区もあるかもしれないし、違う区においては、もっと自治協議会提案事業分で使いたいということで、現行の500万円を増やして使う区もあるということで、あくまでも柔軟性を持たせたということである。例えば、平成30年度からのまちづくり活動サポート事業などといった新規の取組みを拡充していこうとか、そういったことが柔軟にできるということである。

○議長（小田会長） 今、補足をお願いした。昨年度、初めて自治協議会提案事業の一部、各部会から審議をいただいて150万円拠出し、それをまちづくり活動サポート事業に充当した。今、採択された四つの団体の皆さん方が奮闘しているところである。例えば、これを拡充するのであれば、より柔軟なかまえ方も可能だという意味である。

鞠子委員、コミュニティの立場で、とらえ方の違いについてどのように感じているか、願います。

○**鞠子委員** イメージ的な話で本当に恐縮だが、500万円というお金を示されているわけだが、当然、必要なものをどう個人的な価値を持って見つけていくかというのが自治協議会の私なりの仕事ではないかと感じている。コミュニティ協議会の中でいうと、コミュニティ協議会の予算の中で、先ほど言った子育て支援のような形の中では、非常に、今、コミュニティ協議会自身のお金の使い方よりも地域センターとしての、言い方は申し訳ないが、一緒のところにいるから、そのお金を流用させていただいて運営しているという位置づけが、各コミュニティ協議会も大きいのではないと思う。そういう意味でいうと、地域センターは地域センターとしての動き、コミュニティ協議会はコミュニティ協議会としての予算の中でおいしい部分をその中から少しでもという形でのお願いをしたいというのは私の頭の中にはある。

もう一つは、区全体として考えたときに、地域性が全く違うというのがあるので、例えば、去年のものを見ていても、うちのコミュニティ協議会に持ち帰っても、あ、これがみたいな形の意見が出てきてしまう。その辺は多数決の論理で決めるしかないかなというようにところで、少しとりとめのない話になったが、そのような感じがした。

○**議長（小田会長）** 大多数の委員の皆さん方が昨年から引き続いてなので、ご経験をお持ちである。区づくり予算について、ご意見なり質問があれば、どうぞ、遠慮なくご発言いただきたい。

第2部会長の田中部会長、何かこのことについてご意見があればお願いします。

○**田中委員** 区づくり予算についてだが、区役所企画事業と自治協議会提案事業をきっちり分けなくても、両方に関係するような予算の立て方とかができるのではないかと思った。

○**議長（小田会長）** 相互交換性を持つことを歓迎するということである。

ほかにご意見があれば頂戴する。

ないようなので、このスケジュールに従って自治協議会も準備を進めてまいる。併せて、各部会を中心に、私たちの部会の中での活動で、これをより充実すべき、あるいはこれを少しこちらのほうに回すべきではないかということも含めて、部会での議論をこれから積み重ねていきたいと思うので、各部会長、ご協力をお願いします。併せて、盛り上がってきたまちづくり活動サポート事業の充実を図っていければと思っている。

3 報告・連絡事項

(1) 部会報告

○**議長（小田会長）** 次に、部会の報告と連絡事項に入る。次第3(1)部会報告について、部会の検討状況を各部会長から報告していただく。今月の第1部会に本間智美部会長が欠席されたので、第1部会副部会長の鞠子委員から報告をお願いします。

○**鞠子委員** 本間委員に代わり、先日行われた第1部会の内容についてご説明する。先日、区長マニフェストの検証という形になり、評価項目について、地域総務課の立川さんからご説明いただき、それについてみんなで検証した次第である。それから、南区の公共交通PR事業について会議を行った。

協議結果として、区長マニフェストについては、この4項目についての説明を聞いたうえでいろいろ意見交換したということである。それから、南区の公共交通PR事業については、マリニア号に乗って水族館気分を満喫とあるが、去年と同じように、南区のバス利用者の増加に向けてのPRとして、まちなか環境ルートぐるりん号にマリニア号を運行して、水族館気分、子どもたちをはじめ多くの区民にご利用いただきたいという形で運行を行う。運行期間は7月23日から8月17日までの平日のみとなるが、1日8便運行するという形で決定した。

○**議長（小田会長）** 続いて、第2部会長の田中容子委員から説明をお願いします。

○**田中委員** 第2部会は7月13日に開催した。

会議内容として、出会いの場づくり事業について、区長マニフェストの検証について、家族ふれ愛月間についてであった。

協議結果として、出会いの場作り事業については、開催日を12月9日日曜日に決定した。委託業者から事業等の説明があり、実施内容などについて協議を行った。区長マニフェストについては、下記の2点を所管課が説明したうえで、部会員から質問、意見をいただいた。家族ふれ愛月間映画上映会については、チラシの配布枚数等の確認を行った。

第2回教育ミーティングの日程について、協議を行った。

○議長（小田会長） 続いて、第3部会長の小林誠委員から報告いただく。

○小林委員 第3部会は、第4回を平成30年7月10日に開催した。会議内容としては、区長マニフェストの検証について、評価項目について、所管課から説明をいただいた。評価項目についての検証、第3部会の提案事業について、ファミリーダンスの実施報告、また観光案内看板について検証を行った。協議結果として、区長マニフェストについては、下記の評価項目について所管課から説明をうけたうえで、部会員から質問、意見をいただいた。拠点商業地内の空き店舗を利用した新規出店や交流スペースの整備、重要文化財旧笹川家住宅、しろね大凧と歴史の館の入館者数の検証をさせていただいた。

事務局より、7月7日に行ったファミリーダンスについて実施報告があった。このときは、約100名近い方が参加され、無事終わった。

案内看板については、案内看板の高さについて検討した。

○議長（小田会長） 最後に、広報部会長の青木委員から説明を頂戴する。

○青木委員 広報部会について説明する。7月18日に第4回を開催した。おかげさまで7月15日に第12号を発行したところである。ご覧いただいたことと思う。

次回については、第13号を12月16日に発行する計画を立てた。次回については、表面は今までもおり活動報告を載せたいと考えている。裏面には今までもおり南区地域情報発信を、案の内容について話しあったところである。

○議長（小田会長） 今、四つの部会から報告をいただいた。区長マニフェストの検証についても、各々の観点から順調に検証が進められていると聞いている。ただいまの四つの報告について、質問、ご意見があればご発言いただきたい。

ないようなので、会議を進める。

（2）信濃川・中ノロ川・鷲ノ木大通川クリーン作戦実施報告について（建設課）

○議長（小田会長） 続いて、次第3（2）信濃川・中ノロ川・鷲ノ木大通川クリーン作戦実施報告について、建設課長から報告をいただく。

○吉田建設課長 建設課から、7月8日に行われた信濃川・中ノロ川・鷲ノ木大通川クリーン作戦のお礼と実施報告をさせていただく。南区では、このクリーン作戦を平成7年から継続して実施している。毎年地元のコミュニティ協議会、自治協議会からご協力をいただき、小さい子どもからお年寄りまで、たくさんの協力をいただき、地域一丸となった取組みとなっている。この日は実施前日から西日本豪雨災害のニュースがテレビを賑わしており、実施できるかどうか少し微妙なところであった。地区によっては実施を取りやめたところもあったが、今回も多くの参加者のもとで実施することができた。

資料3をご覧いただきたい。過去5年の参加者のごみの集積結果を表にまとめてみた。今回の参加者は1,566名、ごみの量が1,520キロであった。クリーン作戦は毎年多くの参加をいただいている。しかし、ごみの量は全然減っていない。本当にこれは残念だと思っている。南区では、今後も地域の皆様と行政が連携して、このクリーン作戦を継続して実施して、美しい河川、きれいなまちづくりに努めていきたいと思っているので、また来年もご協力をよろしくお願いしたい。

○議長（小田会長） 今、3川のクリーン作戦の実施報告をいただいた。このことについて、ご意見をお願いします。なお、この川のクリーン作戦に限らず、環境美化運動についてのご意見でもけっこうである。発言をいただきたい。

ないようである。次に進める。

（3）第2回みなみマルシェ～シロネラコッテ～の開催について（地域総務課）

○議長（小田会長） （3）第2回みなみマルシェ～シロネラコッテ～の開催について、地域総務課の佐藤補佐から願います。

○佐藤地域総務課長補佐 今週末29日日曜日に開催する第2回みなみマルシェ～シロネラコッテ～のご案内をする。白根学習館ふれあい広場を会場に、フランス語で「市場」を意味するマ

ルシェを開催するものである。市場ということで、買い物をしたり飲んだり食べたりすることができる。また、さまざまな体験をすることもできるイベントである。主催はにいがた南区創生会議、白根青年会議所など、南区内の若手の皆さんが中心となって南区の活性化のためにまちなかに人を呼び込むイベントとして開催するものである。

第1回目のマルシェは、白根大風合戦期間の6月10日にリオンホール前で開催したので、お立ち寄りいただいた方もいらっしゃると思う。2回目となる今回は、場所を変え、さらにスケールアップをして開催する。連日30度超えの日が続き、当日も同じ状況との予報に加え、今後の台風の進路が気かりではあるが、若い方々が南区をもっと元気にしよう、南区にもっと人を呼び込もうといった思いから開催するものである。暑さ対策もしっかりと行うので、皆様からも、ぜひお出かけいただき、応援いただきたいと思う。よろしく願います。

○議長（小田会長） 第2回みなみマルシェの開催についてお話しいただいた。このことについて、ご意見も含めて頂戴する。

小林部会長、第3部会も市場の活性化に携わっているが、第3部会長の立場でご意見があれば願います。

○小林委員 私の意見ということで。白根大風合戦のときも見せてもらったし、私も有意義に楽しませていただいた。残念ながら私はこの日は東京に行っていないもので、見られないが、ぜひ、白根だけではなく、南区全体でできるような感じであればと思っている。なぜかという、ぜひ、白井でもやっていただきたいと思っているので、よろしく願います。

○議長（小田会長） 最後のほうに、地域を移動するという発想も出た。

○児玉委員 小林委員の発言で、私も、逆に言うと、定期市には今まで出ている。実家は、私の働いているところが八百屋なので、29日に4と9の市で白根の市の日である。2と7の月潟市の活性化にはご協力させてもらっているが、29日となると白根の定期市であるマルシェ、市ということで、定期市を開催されているときに時間帯をずらして別の場所で市をやられるということはどうかというのが私の個人的な意見である。

○議長（小田会長） ちょうど六斎市の開催日である。白根が4と9なので、ちょうどそれとち合うのはどうかというご意見である。

ほかにあれば願います。

ないようである。

（4）味方地区ふるさと納涼まつりの開催について（味方出張所）

○議長（小田会長） 続いて、次第3（4）味方地区ふるさと納涼まつりの開催について、島倉味方出張所長から願います。

○島倉味方出張所長 ご苦労さまである。私から、味方地区ふるさと納涼まつりのPRをさせていただきたい。味方地区ふるさと納涼まつり実行委員会の主催による味方地区ふるさと納涼まつりが7月28日土曜日、味方野球場を会場に開催される。今年で23回目を迎えるこの祭りは、味方地区の夏には欠かせない一大イベントとして地区内外から親しまれるお祭りとして育ててこられた。まつり当日は、午後3時に開場しオープニングステージ、その後、午後5時からステージイベントが催される。ステージパフォーマンスでは、地元の保育園児をはじめ各団体の演技や大道芸バルーン、子どもショー、柏崎出身の演歌歌手広田奈緒さんの歌謡ショーとして、メインである、佐渡島を拠点に太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見だし、現代への再創造を試みる集団、太鼓芸能集団鼓童のライブステージが催されるなど、盛りだくさんの内容となっている。出店も多く出展しているので、夕涼みを兼ねて、ぜひ、お越しいただきたい。よろしく願います。

○議長（小田会長） 味方地区ふるさと納涼まつりについてお話を伺った。23回の伝統のまつりである。このことについて、運営に対する質問でもけっこうである。大変な人気だそうだが、ご意見をいただきたい。各々の地区でこれからさまざまなまつりが開催される。恐らく、委員の皆さん方はこれから公私ともに奮闘する機会が多かろうと思うが、ご活躍を祈っている。

庄瀬もまもなくである。8月のお盆に。ぜひとも盛会になるよう祈っている。

ほかになければ、次に進める。

(5) その他

○議長（小田会長） (5) その他について、お諮りをする。まず、事務局から提案があればお願いする。

○佐藤地域総務課長補佐 水と土の芸術祭2018についてご案内する。お手元に2種類のチラシを配布しているが、4回目となる水と土の芸術祭は今年14日に開幕した。中央区万代島の旧水揚場跡地、通称「大かま」をメイン会場に、10月18日までの間、開催する。皆様におかれましては、会期が夏から秋にかけ3ヶ月と長いことから、研修先の一つとしてご検討いただくほか、参加に当たってはさまざまな特典付きのパスポートが大変お得なので、ご購入についてもご検討いただければと思う。なお、パスポートは南区地域総務課でもご購入いただけるので、ご入り用の際にはお声がけいただきたい。

本芸術祭の大きな特徴としては、市民自らが企画運営を行う、市民と地域が主役の市民プロジェクトがある。南区内でも八つのプロジェクトが展開されるので、新たな南区の魅力を体験いただきたい。

○議長（小田会長） 今、水と土の芸術祭2018についてお話を伺った。これについて、委員の皆さん方、もし補足があれば、あるいはこういう観点でということがあれば、ご発言いただきたい。

○本間委員 市民プロジェクトの内容の補足の説明をさせていただきたい。かいつまんでご説明させていただく。まず、上のほうから、臼井地区の狸の婿入り行列プロデュースということで、今年、第16回目になる狸の婿入り行列がある。その中の踊りや音楽を、今回、プロデュースし直した。踊りはLatさんという振付師に来ていただき、現在、臼井小学校3年生の子どもたちと一緒に踊りを作っている。子どもたちと一緒に狸の婿入り行列が100年後も続くように、そして僕たち、私たちが作った踊りを100年後も子どもたちが踊ってくれるように、そのような思いの中で作っている。実際の本番は10月8日月曜日祝日の午後1時にスタートとなるので、子どもたちの勇姿、そして地域の方々の魅力あふれるもてなしなど、ぜひ、見に来ていただければと思っている。

次に、月潟アートプロジェクト2018である。月潟のほうは去年から準備をして、旧料亭木村屋、それから元映画館の月潟劇場の2会場で現代アート作品を展示している。水と土の芸術祭は、現在、旧水揚場の大かまなどでもアート作品がいろいろ展示されているが、そこに本当に負けないくらいの作品を展示している。地域の皆様にも見ていただければと思うし、月潟地区がかつての花街であったという面影も、旧料亭木村屋を見ていただくと分かるし、皆さんの懐かしい思い出もきっとあるだろう映画館の、本当にその当時の姿を再現したような作品もあるので、ぜひ、足を運んでいただければと思っている。

次に、庄瀬地区で行われる、しよげ芸術大学である。庄瀬地区にあるいろいろな文化、芸術を生かしているいろいろなワークショップを実施している。7月15、16日は終わってしまったが、書いていないが8月7日、8日に庄瀬地区にある影絵クラブこかげの影絵の上演や、その影絵を実際に体験してみるワークショップがある。8月7日の夜7時から、庄瀬地域生活センターで影絵の上演がある。それから8日の朝10時から、ちょうど地域の茶の間をやっている時間帯だが、一緒に影絵をやってみようということで、ワークショップを実施する予定である。その後、文化祭などにも展示しながら、地域の皆様と、そして外から来られる皆様と一緒に庄瀬地区の文化について一緒に体験していただければと思っている。

次に、フォトウォークプロジェクト白根である。こちらは白根大凧合戦など白根の日常の風景を写真に収めて、それを作品集にまとめるというプロジェクトである。地域展が白根学習館で9月7日から30日。そして、合同作品展ということで、ほかの地域でも同じような活動をされているので、その作品を合わせて新津美術館で10月1日から8日まで展示される。

続いて、白根商店街にある、天昌堂プロジェクトである。こちらは2016年から始まったプロジェクトである。先日、終わったが、天昌堂の中にある遊具を使って健康プログラムをどのように作れるかを、参加された皆様と一緒に作った。監修にはアーティストや新潟大学医学部の先生などにも来ていただいて、プロジェクトを実施したところである。現在、地域の茶の間を週に2日間やっているが、水と土の芸術祭2018期間中は土曜日、日曜日、祝日も開けている。そ

のことによって子どもたちが遊具を使い遊びに来られる姿がかなり見られている。そういった中で、特に、今、気候変動によって暑く、外で遊ぶのがなかなか難しかったり、冬場は外で遊ぶのが難しいという新潟の気候もあるので、こういった地域の拠点の中に遊具があり、そこに子どもたち、そしてお年寄り、いろいろな方々が来られて、地域のコミュニティが活性化できたらいいと考えている。また、こちらの運営に関しては、本当にスタッフのメンバーだけではなかなか難しいところもあるので、ぜひ、白根コミュニティ協議会の皆様のお力もいただければと思っている。

次に、水の記憶新聞づくりである。こちらは8月7日火曜日に小学生と保護者を対象に行われる。毎年行われている子どもたちのまち歩きと新聞づくりになるが、今回は、水の記憶というテーマで、中ノ口川をめぐるいろいろな歴史の水との闘いを子どもたちの目線で調査し、新聞づくりを行うそうである。また、でき上がった新聞などはどこかで掲載できると思うので、そちらを皆様にお届けしたい。

続いて、味方地区で行われている、まなざしのデザインゼミである。こちらは役所の方々が中心になり、現在、新潟市が独立共和国になったらどうなるかというような視点で、新潟市や全国のデータ、それから世界とのデータの比較をしながら、独立計画を企ててみるということを実施している。例えば、独立共和国になると新潟市のどのようなものを輸出できるかとか、どのような税制が必要かといった視点で、100年後等の未来について考えるということになる。成果発表としては、データを収集した分析の内容や、こういう未来があったらいいのではないかというような提案の内容をする予定にしている。そちらの発表を南区内の会場、おそらく旧笹川家住宅になると思うが、実施する予定である。日にち等が決まり次第、またお知らせしたい。

最後に、新飯田子どもファクトリーである。こちらは新飯田地区で実施する予定である。新飯田地区は、新飯田小学校で去年もスイーツの開発を行ったり、白南中学校の中学生の方々によるいろいろな地域活性化のアイデアなどが出てきている。そういった子どもたちの自由な発想を実際に実現、具現化させながら、そして地場産業と連携させることで、地域全体で活性化したらどうかという内容になっている。実際の内容については、子どもたちのアイデア待ちという状態になるので、そちらの具体的な内容は随時お知らせしたい。

水と土の芸術祭は4回目になるが、ここまで市民プロジェクトが活発な区は、正直、南区が一番である。そして、本当に全国から注目を浴びているので、そういった意味でも、南区のいろいろな魅力がこの市民プロジェクトで外の方々に発信できればと思っている。ぜひ、皆様も、いろいろな地区に足を運んでいただいて、知らなかった南区の魅力を体験いただければと思っている。

○議長（小田会長） 水と土の芸術祭の本体についてと、本間委員から南区内の市民プロジェクトの一覧に沿って説明をいただいた。これについて、皆様方からご意見を頂戴する。

すでに各コミュニティの中で取組んでいるところもあるやに聞いている。

ないようである。それでは、委員の皆様方から、その他について、ご発言、連絡があれば願います。コミュニティ協議会代表の皆様方、よろしいか。懇談会がすでに終わったところ、あるいはまだこれからというところもあるが、それらのことについてでもけっこうである。発言があれば願います。

ないようである。その他はこれで終わらせていただく。

4 次回全体会の日程について

○議長（小田会長） 次に、第4、次回全体会の日程について協議させていただく。

毎月最終水曜日となるので、来月は8月29日水曜日となる。なお、第3回自治協議会で説明してあるように、市長と自治協議会委員との懇談会が自治協議会の冒頭、およそ1時間だろうと思われるが、開催される。そのあとから自治協議会の会議になる。当日、市長は秋葉区で懇談会が南区に先立って開催されるため、午後2時45分から南区の当役所講堂で開催となる。これで日程の差しくりを各委員の皆様方からご努力をいただきたい。次回は8月29日午後2時45分開会でご協力いただきたい。

5 閉会

○議長（小田会長） それでは、以上で第4回南区自治協議会を終了する。
暑い中、長時間のご協力に感謝申し上げます。

(午後4時55分)